

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-12 ごみ処理広域化計画推進事業									
	□支援部門									
主管課	環境施設課					関連課				
分野名	生活環境									
目標 (目標値)	平成37年度までに新たなごみ焼却施設を建設する。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	2,069								
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	2,069								
	人員配置数	0.4								
	人件費(千円)	3,233								
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	5,302								
	市民1人当 りの経費(円)	30								
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
基本構想を策定する。	○	目標値				100%				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値				90.0%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
ごみ処理広域化計画推進事業	2,069千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	鎌倉市に新たなごみ焼却施設を建設する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	委託事業者に技術力がなく、報告書の作成に手間取った。		
課題解決のための取組	契約期間を延長し、対処した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	平成24年度中に市の施策としてまとめきれなかった。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		↓ A	課長等名 環境施設課長 小柳出 延之
		③有効性	○			
		④公平性	○			
平成25年度には、鎌倉市ごみ焼却施設基本構想を市の施策とした。 また、逗子市との広域については、今後も焼却以外のごみ処理等を含めた広域処理について協議を継続していく。						

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
ごみ処理広域化 計画推進事業	主な個別事業	1105 鎌倉市ごみ焼却施設基本構想	5,523	2,069	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							